

一般社団法人 九州ガラス外装ガラスクリーニング協会 安全パトロール 報告書

日時 令和 元年 11月 6日(水) 9:30~12:00

場所 福岡市中央区、博多区近郊

参加者 福岡労働局 労働基準部 安全課
産業安全専門官 秋本 雄一
他4名(新人研修)

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会
水野 吉親

一般社団法人 九州ガラス外装クリーニング協会
樋口 健二

塚崎 宏治

三苦 茂

NO 1

現場住所	福岡市博多区博多駅東
作業会社	会員



※トラバー無しのバリケード



※一つの支持物にメインとライフラインを緊結

労働安全衛生規則から見る高所作業の6条件の確認

6条件項目	確認	その他
ライフラインの設置	△	同じ支持物より緊結
墜落阻止器具の使用	○	
墜落制止用器具の装着	○	フルハーネスを使用
道具の落下防止措置	○	道具にカールコードの装着を確認
立入禁止区域の設置	△	トラバー無しでのバリケード
ヘルメットの着用	○	墜落時保護用を使用

その他

バリケードのトラバーの設置について指導。

NO 2

現場住所	福岡市博多区呉服町
作業会社	会員



※警備員を含めたバリケード



※ロープの取り付け状態も良好

労働安全衛生規則から見る高所作業の6条件の確認

6条件項目	確認	その他
ライフラインの設置	○	カーンマントルロープを使用
墜落阻止器具の使用	○	ペツル社のアサップロックを使用
墜落制止用器具の装着	○	フルハーネスを使用
道具の落下防止措置	○	道具にカールコードの装着を確認
立入禁止区域の設置	○	コーンとトラバー 警備員を配置
ヘルメットの着用	○	墜落時保護用を使用

その他

墜落阻止器具をフルハーネスの胸ではなく、腹のD環に装着していたため、指導